千代大台30度目V

驚異の肉体と精神力

大相撲初場所十三日目（19日・両国国技館）は横綱・千代の富士が大関・旭富士を寄り切り、土つかずの13連勝で早々と9場所ぶり三十回目の優勝を決めた。十三日目の優勝決定は昨年秋場所の千代の富士に次ぐ二回目、千代の富士は通算三十回目、史上最多記録保持者の北勝海に3敗で並んだ。

大相撲初場所十三日目

13日目

旭富士を西土俵へ寄り立てる形だけ、見苦しくもあった。三十四歳の力士とは思えない粘り、精神力を誇示し千代の富士が、早々と大台30回目の優勝を決めた。筆巧思くらべが、たいへんという声がかかった。

ほっとした表情で質問に答える千代の富士＝両国国技館

◇優勝10回以上の力士

千代の富士	北海道	30回
大鵬	樺太	32回
柏戸	山形	10回
⑥⑦ 輪島	石川	10回
⑥⑦ 貴乃花	東京	10回
⑥⑦ 若乃花（初代）	東京	10回
⑥⑦ 富士の嶺（初代）	北海道	10回

大鵬の記録にあと「2」

千代の富士の話　早いうちに取れたい、周りが騒がしくなったのが、思い優勝になった。三場所は自分の相撲が出てきたのが、思い優勝になった。三場所は自分の相撲が出てきたのが、思い優勝になった。三場所は自分の相撲が出てきた